



**特定非営利活動法人**  
**ニッポン・アクティブライフ・クラブ**  
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 〒540-0028  
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130  
 ホームページ <http://nalc.jp> **毎月1回 10日発行**  
 Eメール編集室 [kaiho@nalc.jp](mailto:kaiho@nalc.jp)

# 函館拠点創設20周年記念イベント 高齢者フォーラムを湯の川で

地域の活性化には高齢者のパワーが不可欠といわれている。函館拠点では創立20周年の記念イベントとして、高齢者の社会参加と行政との連動をテーマに、堀田力氏を講師に「高齢者フォーラム」を開催した。9月15日午後1時から、函館近郊の湯の川温泉に、ナルクからは神野会長がアドバイザー、山崎弘・中標津拠点代表がパネラーとして参加、「堀田会長の記念講演」「パネルディスカッション」「記念交流会」と熱のこもったフォーラムが行われた。9日前の大地震にもかかわらず、会員以外の聴衆も90人以上集まり、意義深い催しとなった。

## 記念講演

演題  
 高齢者パワーと地域の活性化について  
 公益財団法人 さわやか福祉財団 会長 堀田力氏  
 (ナルク顧問)

堀田会長は先ず1例目として、千葉県市原市の93歳の山田治男さんの事例を紹介された。

山田さんは企業退職後、これからは「皆のために、何とか役立ちたい」との思いで、まず町内会に入り、町内会長になった。早速、見守り活動も始めた。

堀田会長は先ず1例目として、千葉県市原市の93歳の山田治男さんの事例を紹介された。

山田さんは企業退職後、これからは「皆のために、何とか役立ちたい」との思いで、まず町内会に入り、町内会長になった。早速、見守り活動も始めた。



秋の奥入瀬溪流 写真 佐藤充

「あのおじさん良いよ、すごいよ」と評判になった。この見守り活動も30年間続いているとのこと。

学校の「空き教室」を活用した子供たちの居場所作りは、親の居場所作りにも発展した。個々にバラバラで助け合うのではなく、チームを作ってナルクのような活動していたり、仲間の手助けが、助け合いを促している。

山田さんは企業退職後、これからは「皆のために、何とか役立ちたい」との思いで、まず町内会に入り、町内会長になった。早速、見守り活動も始めた。

ボランテア活動の体制を構築された。ボランテア活動をやっている人は手術をしても治り方が早く、退院期間も倍くらい短い。風邪をひいても治り方がずっと早い。免疫力が違う。ナルクの皆さんは助け合いをやっていて、免疫力が強い、入院期間も短いと思えますとのこと。

特に、「ありがたうは魔法の言葉です」と言われる。人から「ありがたう」と言ってもらったことがボランテア活動の本物の生きがいになっているのではなからうか。

いま、全国でそういった助け合いを広める力が広まっている。4年前から始まった要支援者、要介

「第2層地域支援あい推進員の活動」について説明。地域包括支援センターの人員、業務、期待されている役割、連絡協議会の活動、函館地域ケア会議、地域支援あい推進員連絡協議体などを説明。地域包括ケアの礎となる考え方として「近所さんやボランテア、専門職みんなでお互いさま助け合いの輪を広げよう」と訴えた。

永澤和枝氏 (函館の地域福祉を考える会事務局長)

る人は60歳を過ぎてからの生存率が倍違うとのこと。

次に日本で初めて地域包括ケアを事実上やり始めた広島県旧御調町の市立病院の山口院長の事例を紹介された。

山口院長は、患者さんの助け合いを含めた生活支援を確立された。退院してからも、医師、看護師が24時間いつでも往診出来る体制、なるべく家で最後まで暮らせるようにボランテアで生活を支える体制を構築された。

「あのおじさん良いよ、すごいよ」と評判になった。この見守り活動も30年間続いているとのこと。

学校の「空き教室」を活用した子供たちの居場所作りは、親の居場所作りにも発展した。個々にバラバラで助け合うのではなく、チームを作ってナルクのような活動していたり、仲間の手助けが、助け合いを促している。

山田さんは企業退職後、これからは「皆のために、何とか役立ちたい」との思いで、まず町内会に入り、町内会長になった。早速、見守り活動も始めた。

「あのおじさん良いよ、すごいよ」と評判になった。この見守り活動も30年間続いているとのこと。

学校の「空き教室」を活用した子供たちの居場所作りは、親の居場所作りにも発展した。個々にバラバラで助け合うのではなく、チームを作ってナルクのような活動していたり、仲間の手助けが、助け合いを促している。

山田さんは企業退職後、これからは「皆のために、何とか役立ちたい」との思いで、まず町内会に入り、町内会長になった。早速、見守り活動も始めた。



記念講演を行う堀田力氏

ば体も元気に。この一度生活支援の助け合いをナルクなどといキリストなので、ことある度に推薦している。ナルクの会員が増えるのもうれし。活動する人が繋がり、広がり、会える楽しみも増え、仲間がどんどん広がるということ。政府も人手不足問題や介護保険料が助かる。その役割を全国市町村に作って。これが生活支援コーディネーター(地域支援あい推進員)といえ、ボランテアの協議体を作って、助け合いで行こうと全国で動いている。今心で温かい社会になる。ナルクのこれまでの活動に敬意を表して、もう一段「この際一緒に頑張りましょう」というメッセージで締められた。

佐藤進二氏 (函館市保健福祉部 高齢福祉課課長)

「函館市における地域包括ケアシステムの推進」について説明。高齢単身世帯、高齢夫婦世帯の割合が上昇。家族や親族との交流が少ない高齢者が多く、要介護(要支援)認定率が全国や北海道平均と比べて高い。地域包括ケアシステムの推進により、地域の支え合いの推進、安定した介護保険制度の構築により、「いつまでも健康で生きがいを持ち、安心して生活ができる社会へ」を目指している。

松野陽氏 (函館市地域包括支援センター連絡協議会会長)

★「ナルク(NALC)」はNPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブが発行する情報誌です。我々は高齢者の声の代弁者として質の高い情報を発信します。



### エリア17北河内地区全体会議 本音で話し合う会議が実現

9月21日、東大阪に会員の高齢化により、市で第5回北河内エリア全体会議が開催された。和田担当理事の挨拶の後、神野会長からナルクビジョン委員会の趣旨説明と最新情報の説明があり、各拠点の現時点までの比較状況の報告が行われた。各拠点の努力にもかかわらず、全般的に、本音で話し合う会議が実現できたようだ。



9月21日、東大阪に会員の高齢化により、市で第5回北河内エリア全体会議が開催された。和田担当理事の挨拶の後、神野会長からナルクビジョン委員会の趣旨説明と最新情報の説明があり、各拠点の現時点までの比較状況の報告が行われた。各拠点の努力にもかかわらず、全般的に、本音で話し合う会議が実現できたようだ。

### 中標津拠点の花壇整備 3年越しの努力が実る

高齢者施設一り、園「の花壇を整備し、入居者の皆さんに、美しい花を楽しんでいただくという計画が昨年スタートしました。この施設での活動は、中標津拠点設立のころから続いています。5年前から花壇同好会を立ち上げ、同園の前の花壇整備を実施してきました。そして昨年からの3年計画で中庭の整備が始まりました。



この施設での活動は、中標津拠点設立のころから続いています。5年前から花壇同好会を立ち上げ、同園の前の花壇整備を実施してきました。そして昨年からの3年計画で中庭の整備が始まりました。

去年は花壇の基礎整備。今年は11人のメンバーがレンガで作った囲いの中に土と肥料を入れ、芝生を植える作業を行いました。来年は春一番にクロッカスが可愛い花をつけ、チュリップが咲き誇るという計画です。中庭は重機が入らず、全て手作業です。それでも作業に当たるメンバーは、喜び入居者の顔が見たいと、元気がいばいで作業を続けています。



これぞナルク

高齢化に伴い、「運転に自信が持てなくなった」として、送迎を辞退する状況が生まれているのです。特に最近、高齢者が引き起こす重大事故が社会問題になっておりますので、このことも「運転免許返納」のきっかけになっているのかもしれないです。

「送迎をお願いしたい」という人の数は減ることはありません。難しい組織運営になりますが、元気な活動会員はごまかでも乗り越える気構えで頑張っています。活動会員にとって喫緊の命題は「ナルクの火は消すな」です。

季節の花が盛り、「花野辺の里」の有料公園の中で、「人生の言葉」というものを見つけてきました。

5月に、18年間も乗った車を買い換え川崎から30分ほどで着く千葉にドライブしました。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

今、平均寿命だけでなく、「健康寿命」も、ますます伸びている。私は残念ながら「五体不満足」の身となってしまったが、反省しても後悔はしない。新たな友情と共感の輪を拡大し、生きていける一人の会員でありたいと願う。

天変地異、台風、地震と災害が後を絶たないとき、運転免許高齢者講習の通知が届いた。両眼の白内障手術を終え、日常生活の最後のとりでを確保。勝つことはともかく、負けないうこと、自分史を作ろうと思っている。

点の誕生以来、時間預託活動の約7割が占めております。日常の通院、入退院時の利用、介護施設への往復、買い物など、多岐にわたって利用者のニーズに応えてきました。

ところが、この送迎に最近、暗雲が立ち込めているのです。やはり提供会員の減少です。5、6年前までは50人以上の活動会員が登録されておりました。それが最近30人を切ってしまったので、会員数が増えないこともあります。何といたっても提供会員の減少は避けられません。

（喜寿）77歳 せくな老老これからよ（傘寿）80歳 何のまだまだ役にたつ（米寿）88歳 もう少しお米を食べてから（卒寿）90歳 まだまだ人生勉強中 年に卒業はないはずだ この先もありますので省略します。笑顔で元気に長生きしましょう。

スーパードラッグに「送迎をお願いしたい」という人の数は減ることはありません。難しい組織運営になりますが、元気な活動会員はごまかでも乗り越える気構えで頑張っています。活動会員にとって喫緊の命題は「ナルクの火は消すな」です。

季節の花が盛り、「花野辺の里」の有料公園の中で、「人生の言葉」というものを見つけてきました。

5月に、18年間も乗った車を買い換え川崎から30分ほどで着く千葉にドライブしました。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

今、平均寿命だけでなく、「健康寿命」も、ますます伸びている。私は残念ながら「五体不満足」の身となってしまったが、反省しても後悔はしない。新たな友情と共感の輪を拡大し、生きていける一人の会員でありたいと願う。

あつた。報恩感謝の念のある人はごまかでも強い。誰が見てもいいが、65歳で鮮魚店を閉じ、全国の被災地を回り、一人でボランティアを実践されている。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

今、平均寿命だけでなく、「健康寿命」も、ますます伸びている。私は残念ながら「五体不満足」の身となってしまったが、反省しても後悔はしない。新たな友情と共感の輪を拡大し、生きていける一人の会員でありたいと願う。

天変地異、台風、地震と災害が後を絶たないとき、運転免許高齢者講習の通知が届いた。両眼の白内障手術を終え、日常生活の最後のとりでを確保。勝つことはともかく、負けないうこと、自分史を作ろうと思っている。

季節の花が盛り、「花野辺の里」の有料公園の中で、「人生の言葉」というものを見つけてきました。

5月に、18年間も乗った車を買い換え川崎から30分ほどで着く千葉にドライブしました。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

### 人生は山坂多い 旅の道

あつた。報恩感謝の念のある人はごまかでも強い。誰が見てもいいが、65歳で鮮魚店を閉じ、全国の被災地を回り、一人でボランティアを実践されている。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

今、平均寿命だけでなく、「健康寿命」も、ますます伸びている。私は残念ながら「五体不満足」の身となってしまったが、反省しても後悔はしない。新たな友情と共感の輪を拡大し、生きていける一人の会員でありたいと願う。

天変地異、台風、地震と災害が後を絶たないとき、運転免許高齢者講習の通知が届いた。両眼の白内障手術を終え、日常生活の最後のとりでを確保。勝つことはともかく、負けないうこと、自分史を作ろうと思っている。

季節の花が盛り、「花野辺の里」の有料公園の中で、「人生の言葉」というものを見つけてきました。

5月に、18年間も乗った車を買い換え川崎から30分ほどで着く千葉にドライブしました。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

### ボランティア活動の第一歩

あつた。報恩感謝の念のある人はごまかでも強い。誰が見てもいいが、65歳で鮮魚店を閉じ、全国の被災地を回り、一人でボランティアを実践されている。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

今、平均寿命だけでなく、「健康寿命」も、ますます伸びている。私は残念ながら「五体不満足」の身となってしまったが、反省しても後悔はしない。新たな友情と共感の輪を拡大し、生きていける一人の会員でありたいと願う。

天変地異、台風、地震と災害が後を絶たないとき、運転免許高齢者講習の通知が届いた。両眼の白内障手術を終え、日常生活の最後のとりでを確保。勝つことはともかく、負けないうこと、自分史を作ろうと思っている。

季節の花が盛り、「花野辺の里」の有料公園の中で、「人生の言葉」というものを見つけてきました。

5月に、18年間も乗った車を買い換え川崎から30分ほどで着く千葉にドライブしました。

### 村上市 薫

あつた。報恩感謝の念のある人はごまかでも強い。誰が見てもいいが、65歳で鮮魚店を閉じ、全国の被災地を回り、一人でボランティアを実践されている。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

今、平均寿命だけでなく、「健康寿命」も、ますます伸びている。私は残念ながら「五体不満足」の身となってしまったが、反省しても後悔はしない。新たな友情と共感の輪を拡大し、生きていける一人の会員でありたいと願う。

天変地異、台風、地震と災害が後を絶たないとき、運転免許高齢者講習の通知が届いた。両眼の白内障手術を終え、日常生活の最後のとりでを確保。勝つことはともかく、負けないうこと、自分史を作ろうと思っている。

### 増田文子

あつた。報恩感謝の念のある人はごまかでも強い。誰が見てもいいが、65歳で鮮魚店を閉じ、全国の被災地を回り、一人でボランティアを実践されている。

私たちが、そんな気持ちでナルクに身を置いたはずだ。襟を正さなければならぬ。私たちの身近に、そんな人がいることが分かります、気丈夫だ。

私も古希を過ぎたが、団塊世代の人たちが65歳以上となり、仕事一筋の人生から一変、定年を迎え、何を生きがいとしていくかが問われている。

**私の簡単料理・自慢の一品**  
**おすすめレシピ**  
**ピリ辛「トン唐」**

語学講座(中国語) 老師のお嬢さんに教えていただいたピールのあてにピッタリのレシピです。トン唐(とんから)とは、豚の空揚げのことです。

【材料】豚の細切れ200g 塩コショウ適宜  
片栗粉大さじ2~3 サラダ油適宜

【甘ダレ材料】  
ラー油大さじ2 ニンニク大1かけ 砂糖大さじ3  
醤油大さじ1 酢大さじ1

【作り方】  
1、豚の細切れに塩コショウをよくもみ込み、片栗粉を振り掛けさらによく揉みこむ。※1  
2、フライパンに適量のサラダ油を180℃まで熱し、1の肉を一口サイズにつまみ、入れる。  
3、豚肉が黄金色になったら、バットにあげる。  
4、豚肉を揚げたサラダ油をボール等に移し、そのフライパンに分量のラー油、ニンニク、砂糖を入れて強火で煮詰める。  
5、4にとろみがついたら、3の豚肉をすべて入れ、よく絡めたら出来上がり。※2

【ワンポイントアドバイス】  
※1：塩コショウ、片栗粉をもみこんだ後は、20分以上ねかせた方が肉に味がつき、片栗粉もなじみ、おいしい空揚げが作れる。もちろん、このままトン唐としても食べられます。  
※2：とろみの見極め方は、強火で煮詰めた調味料の泡が大きな泡から中～小になってきたところが、トン唐を入れるタイミングです。  
(びわこ南東拠点 岩成 剛)

読者の広場

短歌

【東大阪・大東】 見上げれば木漏れ日差して七変化しはしたまむプロムナードに 浅井五月

俳句

【八戸】 下駄の音懐しく聞く残暑かな 津乃鐘秀

俳句

【大阪北】 泣きながら傘さす人や夜の秋 高田敏雄

拠点だより

【寝屋川】 光ボスターにも載る新サークルに だに、「うまく描かなくては」という

【東大阪・大東】 見上げれば木漏れ日差して七変化しはしたまむプロムナードに 浅井五月

【東大阪・大東】 見上げれば木漏れ日差して七変化しはしたまむプロムナードに 浅井五月

北向かばどこも北なり天の川 金本美智子

随想

【堺】黒原数枝 ジに力を頂いて 「自分は不幸だ」と

俳句

【八戸】 下駄の音懐しく聞く残暑かな 津乃鐘秀

俳句

【大阪北】 泣きながら傘さす人や夜の秋 高田敏雄

【東大阪・大東】 見上げれば木漏れ日差して七変化しはしたまむプロムナードに 浅井五月

【東大阪・大東】 見上げれば木漏れ日差して七変化しはしたまむプロムナードに 浅井五月



茶道教室を開いている

【水戸】

分が正しいと思っ いるからだ。お互いを尊重し合うこと

【鳥取】K・M

事務局長という立場だった昨年9月。都会に暮らす娘の出産の世話をすするため

【水戸】

人が、耳に障害のある人などなので、マイクの前までの誘導も行いました。

編集長雑感

「本紙は拠点の会報で成り立っている」と言うことがご理解いただけたら幸いです。

ナルクの現勢

Table with 2 columns: 地域 (Region) and 活動拠点数 (Number of activity points). Rows include 北海道地区 (11), 東北地区 (5), 関東地区 (25), etc.

QR code and contact information for NALC, including address and phone number.

Advertisement for '団体賛助会員' (Corporate Sponsorship Members) with a list of member organizations.